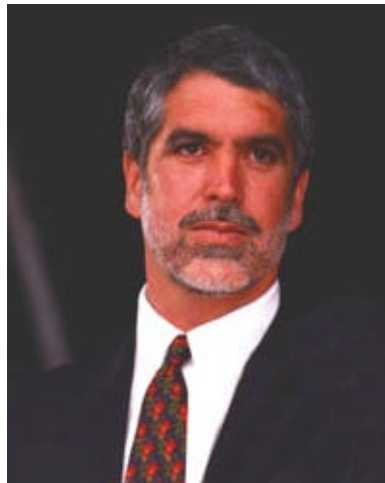


特別講演
『平等で持続可能な都市の開発に向けて』
エンリケ・ペニャロサ コロンビア共和国・前ボゴタ市長

2004年2月9日(月) 15:30-17:00
国連大学本部(渋谷区神宮前 5-53-70) エリザベスローズ会議場(5階)



プログラム(予定)

15:30-15:40 開会挨拶

- ◇ ハンス・ファン・ヒンケル(国連大学学長)
- ◇ 小林 敏雄(米州開発銀行(IDB)駐日事務所長)

15:40-16:20 エンリケ・ペニャロサ コロンビア共和国・前ボゴタ市長講演
『平等で持続可能な都市の開発に向けて』

16:20-16:55 質疑応答(モデレーター: ハンス・ファン・ヒンケル学長)

16:55-17:00 閉会挨拶

ハンス・ファン・ヒンケル(国連大学学長)

エンリケ・ペニャロサ (Mr. Enrique Peñalosa)

英デューク大学(経済・歴史学)、及び仏パリ第二大学(行政学)卒業。会社勤務、大統領経済担当顧問等を経て、1998年に首都ボゴタ(人口約650万人)の市長に就任。2000年12月までの在任中、住宅・交通・下水道・緑化・福祉・教育などの様々な問題に積極的に取り組み、市民の生活水準向上に多大な貢献をした。その功績が認められ、ストックホルムチャレンジをはじめ内外の賞を多数受賞。現在はニューヨーク大学で都市開発の研究や著書の執筆にあたる傍ら、世界各地で講演活動を行っている。